

# 中と高陽市姉妹都市提携



自慢のそばを振る舞う斎藤会長（左）ら

続で、会場から大きな沸いた。は、1854（安政ペリー提督率いるアメリカ艦隊が箱館に入港した

した。喜んでもらいました」と話していた。

同プログラムはこの日で、1週間目が終了。1日に約50人が福島県に戻り、第2陣として約220人の子どもたちが到着する。今後、松前町など、道内各地の協力自治体での滞在も本格化する。進士徹実行委員長（54）は「1週間で外で遊べることが当たり前になりました、ようやく『普通の子』になれたと思う。くたくたになったボランティアや多くの支援に感謝しています」と話していた。（今井正一）



観客席の大応援を受けてゴールを目指す選手たち

「レスキュー118」。海上保安庁函館航空基地の海のレスキュー隊が日々の厳しい訓練で培った体力、チームワークを発揮した。女子の部の優勝は北大女子チーム改め「チーム海女さん」で、昨年の悔しさを胸に、新戦力を迎えて勢いに乗った。

仮装パフォーマンス部門の1位は、男性陣が女装とスクール水着で決めた「KAR A@男」（北大水産学部）。肝心のレースではゴール手前で力尽きたが、愛きょうのあるセクシーダンスで来場者の笑顔を誘った。

函館水産高校チームの2年小川みゆきさん（16）は「レースは負けたが、皆で参加していい思い出になった」、1年若杉颯太君（15）は「セイ、セイ」と大きな掛け声で頑張って漕いだ」と満足の様子だった。（田中陽介）

函館水産高校チームの2年小川みゆきさん（16）は「レースは負けたが、皆で参加していい思い出になった」、1年若杉颯太君（15）は「セイ、セイ」と大きな掛け声で頑張って漕いだ」と満足の様子だった。（田中陽介）

一般の部の優勝チームは、チームが出場し、150艇を早さと仮装のパフォーマンスで競った。

## 豪華客船の楽しみ方紹介 飛鳥IIクルーズ説明会

国内最大の豪華客船「飛鳥II」（約5万㌧）で8月下旬

に横浜から青森、函館を巡る

「横浜夜景と津軽・函館クルーズ」を前に、船内での生活

や楽しみ方を紹介する函館市民向けの旅行説明会が31日、

市内若松町のロワジールホテ

ル函館で開かれた。

8月24日から27日まで3泊

4日のクルーズで、函館から

空路で羽田を経由して横浜に

感覚」と話していた。

いほど、朝から夜まで時間が

有意義に使える。寄港地が寝

てている間に船上に近付いてくる

紹介し、「船酔いする暇がないほど、朝から夜まで時間があ

り、よほど、朝から夜まで時間が

有意義に使える。寄港地が寝

てている間に船上に近付いてくる

紹介し、「船酔いする暇がないほど、朝から夜まで時間があ

り、よほど、朝から夜まで時間が

有意義に使える。寄港地が寝

てている間に船上に近付いてくる

紹介し、「船酔いする暇がないほど、朝から夜まで時間があ

り、よほど、朝から夜まで時間が

有意義に使える。寄港地が寝

てている間に船上に近付いてくる

紹介し、「船酔いする暇がないほど、朝から夜まで時間があ

り、よほど、朝から夜まで時間が

有意義に使える。寄港地が寝

ていている間に船上に近付いてくる

紹介し、「船酔いする暇がないほど、朝から夜まで時間があ